

## 「南信州の魅力」発掘・加工・発信事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

「南信州」地域に誇りと愛着を持ち、この地域が持続可能な地域社会となっていくため、そこに住む人々のネットワークを図ること、またそれによって住民自らが地域の魅力を再発見し、それを地域外に向けて情報発信していくことを目的とした。

### 事業内容

- 1 毎月1回、まちづくりサロン「キャンパセッション」を開催し、「南信州」について様々な角度から語り合い、ネットワーク化のスタートとした。
- 2 南信州の魅力を公・民で追求した地域紹介本『いいだ・南信州大好き』を刊行した。



### 事業効果

- 1 「キャンパセッション」については、時には市外、県外からのゲストも招きながら、まちづくり、教育、地方自治、子育て、音楽など様々なテーマについて、楽しく語り合い一定の人的つながりを形成することが出来た。
- 2 『いいだ・南信州大好き』については、地元書店での販売、飯田・下伊那を研究フィールドとした「フィールドスタディー」の教科書としての使用。また、発売元を京都の出版社とし、全国的に販売を行うことで、地元住民による「地域のアイデンティティの確認」や南信州の魅力の全国発信を行うことが出来た。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 1 「キャンパセッション」については、様々な人々にどう集まってもらうか、毎回のテーマ設定をどうするかを苦労した。「テーマ」はバラエティーに富んだ設定にすること、「人集め」については「魅力ある内容」を追求した。特にライブハウスを会場とすることで、音楽と語らいの組み合わせを行い、楽しさの要素も取り入れた。  
支援金事業が終了しても、「キャンパセッション」は継続して実施している。
- 2 『いいだ・南信州大好き』の編集については、「公」と「民」の視点、地域と地域外からの視点、客観性と主張、写真と文章、中心と周縁などのバランスを重視・工夫した。  
今後の取り組みについては、紙媒体の本だけでなく、HPを作成して、ネットによる全国への情報発信を行う。さらに地域の魅力を深く追求するため、拙本のコンセプトをテーマとした「いいだ・南信州大好き」講座を開催する。(2010年度支援金事業として実施中)

#### 【選定のポイント】

南信州の魅力をあらためて発見する機会を提供し、さらに地域外への情報発信を行うことで、交流等のきっかけとしていること、また、情報が網羅的であるが表面的ではなく質が高く完成度が高い点が評価できる。

団体名	しんきん南信州地域研究所 (飯田市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0265-59-7701 (主席研究員 安藤隆一)	事業費	1,507,000円
		支援金額	1,507,000円